

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 商工業の活性化を推進する。	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	601 商店街の活性化を支援する	【基本計画区分】	503【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	市内企業経営の安定化を図る。	【背景】	国レベルでは景気は回復基調にあるが、松戸市では小売販売額、製造品出荷額は減少している。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				60101	法人商店会支援事業	引き続き、個別事業所が操業しやすい環境整備に努めるとともに、商店会活動など地域が一体となって集客に努める活動などを支援していく
				60102	商店街共同施設支援事業	
				60103	商店街共同事業支援事業	
				60104	商店街情報化支援事業	
				60105	商店街活性化指導事業	
				60107	緊急地域雇用創出特別基金事業	
				60108	商工総務事務費	
				60109	商業構造基本調査	

【今後の課題】  
商店会総数の減少は予測されるが、積極的に活動する商店会数を増加させたい

【重要性】  
市内の事業所数や小売販売額は年々減少しており、活性化対策に取り組む商店会には積極的に支援していく必要がある

【現状分析】  
全国的にも販売額が減少するなか、近年周辺他市に郊外型大型店が多数出店しており、競争が激化している。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
年間小売販売額			42100	42150	42170	42190	42200
(千円)			41956	38576	38569	38569	38232
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	1 商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	601 商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000
【事務事業】	60101 法人商店会支援事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	自主的に商店街の活性化近代化を図るように商店街振興組合等の組織化を促し、商店会の安定的な運営を図る。	【指標】	法人化率(%)	【指標概要】	法人商店会÷商店会数(97商店会)理由:法人商店会の活動の度合いを計ることができるため	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						5	5	5	5	5	計画額	0	0	980	500	500
						2	2	3	3	3	(一般財源)	0	0	980	500	500
						0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	500	500
						0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	500	500
						0	0	0	0	0	決算額	0	0	980	500	500
											職員数	0.4	0.4	0.4	0.45	0.45
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】  
市内の商工業を営む者が組織する団体

【目的】	自主的に商店街の活性化近代化を図るように商店街振興組合等の組織化を促し、商店会の安定的な運営を図る。	【指標】	法人化率(%)	【指標概要】	法人商店会÷商店会数(97商店会)理由:法人商店会の活動の度合いを計ることができるため	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【業務】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						0	0	0	0	0	法人商店会の活動を指導する					
						0	0	0	0	0	法人商店会に事業費を補助する					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析  
新たに法人化した商店会数は5年間で1商店会である。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
任意団体として活動を行う商店会でも活発に事業を行っている団体もあり、そうした団体に向けて法人化のメリットを啓発していく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。									
【基本事務事業】	601	商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000										
【事務事業】	60102	商店街共同施設支援事業	商工観光課	会計区分	一般会計									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
街路灯・アーチなどの設置、修繕、維持費等に対し補助を行い活気ある商店街を目指す。	街路灯・アーチ等基数(基)	街路灯・アーチ等基数目標＝現況維持理由：商店街の活動を計ることができるため。	2786	2786	2786	2786	2786	計画額	31,374	28,087	21,779	21,001	17,092	
			2786	2787	2639	2781	2649	(一般財源)	29,374	26,087	21,779	21,001	17,092	
			55	55	55	55	55	予算額	31,374	28,087	20,272	19,105	14,436	
街路灯・アーチ設置基数(基)	街路灯・アーチ設置基数目標＝現況維持理由：商店街の活動を計ることができるため。	100	38	16	51	17	(一般財源)	29,374	26,087	20,272	19,105	14,436		
		124	124	124	124	124	決算額	35,174	25,640	14,913	17,340	14,298		
		0	214	148	257	130	職員数	0.65	0.7	0.8	0.9	0.9		
【対象】 市内の商工業を営む者が組織する団体	街路灯・アーチ修繕基数(基)	街路灯・アーチ修繕基数目標＝現況維持理由：商店街の活動を計ることができるため。	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					【業務】 撤去費補助金 撤去委託業務 設置費補助金 修繕費補助金 維持管理費補助金						
								【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
								将来的には商店会数の減少も予想されるため、既存施設の維持管理等の町会等への委譲について検討する必要がある。商店街の駐車場対策・バリアフリー化・環境美化等ニーズが多様化しているため、新たな支援策を検討する。						
【定量分析】：課題・現状分析														
5年間で計48商店会の共同施設(街路灯、アーチ、フラワーポット、看板等)の整備を行った。また、毎年約80商店会の共同施設の維持管理費の補助を行い、商店街の効率的な環境整備を支援した。														

【計画事業】

【計画事業名】 商店街共同施設設置の支援事業

【節項コード】 503 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	街路灯設置補助金 4商店会 96基 アーチ設置補助金 2商店会 10基 街路灯維持費補助金 2822基	街路灯設置補助金 2商店会 40基 街路灯維持費補助金 2790基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 1商店会 アーチ・街路灯等 221基	街路灯設置補助金 5商店会 43基 アーチ設置補助金 1商店会 4基 街路灯維持費補助金 2758基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 172基 撤去費補助金 1商店会	街路灯設置補助金 アーチ設置補助金 街路灯維持費補助金 修繕費補助金	街路灯設置補助金 アーチ設置補助金 街路灯維持費補助金 修繕費補助金
実績	街路灯設置補助金 4商店会 96基 アーチ設置補助金 1商店会 4基 街路灯維持費補助金 2786基	街路灯設置補助金 2商店会 38基 街路灯維持費補助金 2787基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 1商店会 アーチ・街路灯等 213基	街路灯設置補助金 4商店会 12基 アーチ設置補助金 1商店会 4基 街路灯維持費補助金 2639基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 148基	街路灯設置補助金 4商店会 49基 アーチ設置補助金 1商店会 2基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 259基 街路灯維持費補助金 2703基	街路灯設置補助金 2商店会 17基 フラワーポット設置 13基 修繕費補助金 アーチ・街路灯等 130基 街路灯維持費補助金 2570基

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。								
【基本事務事業】	601	商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000									
【事務事業】	60103	商店街共同事業支援事業	商工観光課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				503	戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
販売促進イベント事業、空き店舗対策事業に対し補助を行い賑わいと活気のある商店街となるよう支援する	販促イベント数(件)	販促イベント数目標=現況維持理由:商店街の振興、発展を計るため。	67	67	67	67	67	計画額	10,356	10,064	7,700	10,900	9,700
			50	54	51	52	43	(一般財源)	10,356	10,064	7,700	10,900	9,700
								予算額	10,356	10,064	8,881	9,462	8,100
空き店舗対策事業活用商店会数(団体)	空き店舗対策事業活用商店会数(団体)	空き店舗対策事業活用商店会数理由:商店街の振興、発展のを計るため。	3	3	2	2	2	(一般財源)	10,356	10,064	8,881	9,462	8,100
			3	3	1	1	0	決算額	7,535	7,378	7,101	6,416	4,922
								職員数	0.5	0.5	0.5	0.55	0.55
	(0)		0	0	0	0	0	【業務】	空き店舗対策支援事業補助金 商業振興関係行事開催事業補助金				
【対象】	市内の商工業を営む者が組織する団体		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
【定量分析】: 課題・現状分析								【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
各種商業関係行事開催実績平成15年度50団体、平成16年度54団体、平成17年度51団体、平成18年度52団体、平成19年度43団体空き店舗対策実績平成15年度3団体、平成16年度3団体、平成17年度1団体、平成18年度1団体、平成19年度は空き店舗事業が実施されなかった。								実施する商店会の減少が予測されるが、意欲ある商店会に対して積極的な活用を促す。					

【計画事業】

【計画事業名】 134商店街共同事業補助事業・133商店街空き店舗対策事業

【節項コード】 503 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	各種商業関係行事開催補助金 67 団体空き店舗対策事業費 テナントミックス事業(賃貸料)1団体 創業者育成事業(店 舗賃貸料) 1団体 創業者支援事業(店 舗賃貸料) 1団体	各種商業関係行事開催補助金 67 団体空き店舗対策事業費 創業者育成事業(店 舗賃貸料) 1団体 創業者支援事業(店 舗賃貸料) 1 団体 他商店会 1団体	各種商業関係行事開催補助金 67 団体空き店舗対策事業費 小箱ショップ事業( 店舗賃貸料)1団体 他商店会 1団体	各種商業関係行事開催補助金 空き店舗対策事業費	各種商業関係行事開催補助金空き店舗対策事業費
実績	各種商業関係行事開催補助金 50 団体空き店舗対策事業費 テナントミックス事業(賃貸料)1団体 創業者育成事業(店 舗賃貸料) 1団体 創業者支援事業(店 舗賃貸料) 1団体	各種商業関係行事開催補助金 54 団体空き店舗対策事業費 創業者育成事業(店 舗賃貸料) 1団体 創業者支援事業(店 舗賃貸料) 1 団体 他商店会 1団体	各種商業関係行事開催補助金 51 団体空き店舗対策事業費 創業者育成事業(店 舗賃貸料) 1団体	各種商業関係行事開催補助金 52 団体空き店舗対策事業費 創業者支援事業(家賃補助) 1団体	各種商業関係行事開催補助金 43 団体

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。								
【基本事務事業】	601	商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000									
【事務事業】	60104	商店街情報化支援事業	商工観光課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				503	戦略区分 -								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
商店会におけるポイントカード等の導入及びホームページの開設により、商店会の販売促進と顧客の定着化を図る	ホームページ導入商店会数(団体)	導入商店会数(現状維持)理由:商店会の活動を計ることができるため。	14	18	21	24	27	計画額	300	1,788	3,294	330	3,300
			14	18	22	23	24	(一般財源)	300	1,788	3,294	330	3,300
	ポイントカード導入商店会数(団体)	導入商店会数(現状維持)理由:商店会の活動を計ることができるため。	3	4	4	4	5	予算額	300	1,788	300	300	300
			3	4	4	0	0	(一般財源)	300	1,788	300	300	300
								決算額	299	1,787	300	100	100
								職員数	0.3	0.3	0.3	0.3	0.3
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	ホームページ作成支援業務 ポイントカード導入促進業務				
市内の商工業を営む者が組織する団体			0	0	0	0	0						
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										
			【定量分析】: 課題・現状分析						【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性				
			5年間にわたり、市内1商店会におけるポイントカードの導入を支援し、また、市内14商店会におけるホームページ開設を支援したことにより、商店会の販売促進及び集客を図りました。						ポイントカードシステムは、本格的な導入には多額の経費がかかることから、費用対効果を考えて導入する商店会が少ない。システム導入効果と導入後の活用について十分な認識を持ってもらい、簡易なシステムも有効なことから導入へ向けて指導していきます。ホームページの開設は、年々商店会におけるIT化が進むにつれニーズが減少している。ホームページに替わる支援をしていきます。				

【計画事業】

【計画事業名】 商店街ホームページ作成支援事業

【節項コード】 503 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	商店会指導(ホームページ) 3件	商店会指導(ホームページ) 3件	商店会指導(ホームページ) 3件	商店会指導(ホームページ) 3件	商店会指導(ホームページ) 3件
	商店会指導(ポイントカード) 2件	商店会指導(ポイントカード) 2件	商店会指導(ポイントカード) 3件		商店会指導(ポイントカード) 1件
実績	商店会指導(ホームページ) 3件	商店会指導(ホームページ) 4件	商店会指導(ホームページ) 4件	商店会指導(ホームページ) 1件	商店会指導(ホームページ) 1件
	商店会指導(ポイントカード) 0件	商店会指導(ポイントカード) 1件	商店会指導(ポイントカード) 0件	商店会指導(ポイントカード) 0件	商店会指導(ポイントカード) 0件

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。								
【基本事務事業】	601	商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000									
【事務事業】	60105	商店街活性化指導事業	商工観光課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				503	戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
松戸市の中心市街地をはじめとして賑わいのある商店街を形成するために、市内商業の現状を把握し地元商店会へ情報提供と指導を行う。	講習会開催数(回)	講習会開催数(商店会活性化講習会・商店街個別指導講習会)目標=現況維持理由:商店会の活動を計ることができるため。	12	12	12	12	12	計画額	1,444	1,827	1,144	7,553	1,553
			12	12	8	2	0	(一般財源)	1,444	1,827	1,144	7,553	1,553
								予算額	1,444	1,827	1,553	1,553	1,552
								(一般財源)	1,444	1,827	1,553	1,553	1,552
								決算額	0	0	924	883	905
	経営者講習会参加人数(人)	経営者講習会参加人数目標=現況維持理由:経営者の活動を計ることができるため。	120	120	120	120	120	職員数	0.7	1.73	1.7	1.7	1.7
			200	69	70	227	291	単位) 事業費:千円 職員数:人					
	通信員先進地視察、通信員会議参加人数(人)	先進地視察、通信員会議参加人数目標=現況維持理由:商店会の活動を計ることができるため。	35	35	35	35	35	【業務】	商店会講習会開催等業務 中心市街地活性化基本計画策定業務				
			50	40	40	50	37						
【対象】	事業者、商店街												
	【指標値】上段:予算目標 下段:実績												
	【定量分析】:課題・現状分析						【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	5年間の講習会等実績商店会を対象とした講習会 34回開催経営者を対象とした講習会 857人参加通信員を対象とした視察及び会議 217人参加中心市街地活性化勉強会 11回開催						積極的な取組み意欲を示す商店会が少ない。活性化に向けた具体的な計画を地元を示して行く必要がある。商店街の活性化に向けて積極的に取組む意識の醸成を図っていく。中心市街地活性化基本計画を策定する。						

【計画事業】

【計画事業名】136中心市街地活性化基本計画策定事業

【節項コード】 503 【節名】魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 10回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 10回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 回中心市街地活性化勉強会 10回	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 10回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 回中心市街地活性化勉強会 10回	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 10回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 回中心市街地活性化策定委員会の立ち上げ	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 10回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 回中心市街地活性化計画策定
実績	商店会活性化講習会 4回商店街個別指導講習会 8回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 9回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 中心市街地活性化勉強会 1回	商店会活性化講習会 3回商店街個別指導講習会 5回経営者講習会 1回商店会通信員会議 1回 中心市街地活性化勉強会 1回	商店街個別指導講習会 2回経営者講習会 1回中心市街地活性化勉強会 1回	商店会活性化講習会 1回経営者講習会 2回中心市街地活性化勉強会 8回



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	601	商店街の活性化を支援する	担当課:	3931000	
【事務事業】	60109	商業構造基本調査	商工観光課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					一般事業
					503 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
商業施策等の策定の基礎資料とするため本市の商業活動の実態を調査する。	調査報告書作成(件)	理由:市内の商業の動向を定期的に調査・分析し公表する	1	0	1	0	0	計画額	3,000	0	2,038	0	0
			1	0	1	0	0	(一般財源)	3,000	0	2,038	0	0
								予算額	3,000	0	3,000	0	0
	HPアクセス件数(件)	理由:調査結果を広く周知することにより、活性化につなげるため。	0	0	0	587	587	(一般財源)	3,000	0	3,000	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	1,523	0	1,554	0	0
								職員数	0.4	0	0.4	0.05	0.05
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】 市民、市内事業者、行政	()		0	0	0	0	0	【業務】	調査委託を行う				
			0	0	0	0	0		調査結果を周知し活用する				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

国の指定統計である商業統計調査を基に国の調査の翌年度に分析を行った。(平成15年及び平成17年に実施)

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

政策や事業を検討する際の基礎資料となるものであり、今後も継続して調整を行う。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 商工業の活性化を推進する。	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	602 地域経済の振興を図る団体を支援する	【基本計画区分】	503【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	市内企業経営の安定化を図る。	【背景】	各産業とも市場での競争はさらに激化しており、市内企業(特に中小企業)を取り巻く市場環境は厳しさをましている。こうしたなか市内の企業や商店が地域で持続的に発展・活動していくためには収益力の強化など環境変化に耐えうる経営基盤の確立が必要とされている。各経済団体では、企業間の交流によるビジネス開拓を図るとともに経営基盤の確立への支援などを行っている。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
		【今後の課題】	各種商工団体の事業内容の充実	60201	商工会議所補助金	産業振興を図る担い手として、市との連携を継続していく。
				60202	各種商工業振興団体補助金	商業振興条例の検討を行う。

【重要性】  
市内の活性化を担う各種経済団体の事業内容の充実を支援することは、市内の産業活性化にとって重要

【現状分析】	周辺都市との地域間競争が激しくなるなか、地域に根ざした経済団体による活動や支援の重要性は高まっている。	【指標】	上段: 予算目標 下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		経済団体の会員数		6500	6500	6550	6600	6650
		(人)		5703	5539	5446	5386	5276
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	1 商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	602 地域経済の振興を図る団体を支援する	担当課:	3931000
【事務事業】	60201 商工会議所補助金	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	地域商工業の発展のために事業を行う商工会議所に支援する。	【指標】	会員数(会員)	【指標概要】	会員数(事業報告書より)理由:より多くの企業が会員になることにより、商工会議所の組織の充実を図り、地域商工業を発展させるため。	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						5700	5750	5750	5800	5800	計画額	8,132	26,632	6,700	7,082	7,232
						5703	5539	5446	5386	5276	(一般財源)	8,132	26,632	6,700	7,082	7,232
											予算額	8,132	26,632	7,082	7,232	7,232
											(一般財源)	8,132	26,632	7,082	7,232	7,232
						0	0	0	0	0	決算額	7,368	26,632	7,082	7,232	7,232
						0	0	0	0	0	職員数	0.55	0.55	0.55	0.65	0.65
											単位) 事業費:千円 職員数:人					
						0	0	0	0	0	【業務】	事業費補助をする				
						0	0	0	0	0	市内商工業振興のための連携をする					

【対象】  
商工会議所

【定量分析】:課題・現状分析  
松戸商工会議所の会員数は減少傾向にある。商工会議所は、平成17年から商店会等が行おうとする新規性の高い事業に対する補助であるブッシュアップ事業を開始し14商店会へ支援した。また、平成18年度から聖徳ビーンズ事業を開始し、ごみ箱再生事業や飲食店マップ作成事業等を行った。商工会議所へ支援することにより、連携して市内産業の発展を進めることが出来た。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
最近の経済動向を反映し、商工会議所会員の加入率が減少傾向にある。加入率の拡大が図れるような、会員にとって魅力ある事業の推進について指導して行く。



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	602	地域経済の振興を図る団体を支援する	担当課:	3931000	
【事務事業】	60202	各種商工業振興団体補助金	商工観光課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
組織充実を推進するため、組織運営指導をすると共に組織運営費に補助する。	商店会連合会加入率(%)	加入商店数/市内商店会数(事業報告書より)理由:商店会連合会の活動を計ることができるため。	65	65	65	65	65	計画額	1,568	1,570	1,568	928	928	
			61	58	56	55	54	(一般財源)	1,568	1,570	1,568	928	928	
	中小企業家同友会会員数(会員)	会員数(事業報告書より)理由:中小企業家同友会の活動を計ることができるため。(基準値:14年度会員数)	129	129	129	129	129	予算額	1,568	1,570	928	928	928	
			129	166	146	159	159	(一般財源)	1,568	1,570	928	928	928	
	()			0	0	0	0	0	決算額	1,568	1,568	928	928	928
				0	0	0	0	0	職員数	0.5	0.6	0.4	0.4	0.4
【対象】	各種商工業振興団体							【業務】	松戸市商店会連合会の事業費を補助 中小企業家同友会の事業費を補助す たばこ商業協同組合の事業費を補助す					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

商店会連合会の会員数は減少傾向にあるが、中小企業家同友会の会員数は平成15年に比して増加している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

活発に活動を継続することにより組織力も強化されることは明確になっている。活動の支援を継続していく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 商工業の活性化を推進する。	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	603 中小企業の経営を支援する	【基本計画区分】	503【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
市内企業経営の安定化を図る。	中小企業は経営資源に乏しく、付加価値を見出すことが難しく、また後継者難などもあり事業の継続がますます難しくなっている。	60301	中小企業融資運営委員会運営事業	中小企業の多種多様な問題について、市場の変化を汲み取り支援方策を検討する。
		60302	異業種交流支援事業	
		60303	技能功労者表彰事業	
		60304	商工中金会支援事業	
		60305	市内景気動向把握事業	
		60306	住工混在解消事業	
		60307	経営支援事業	
	【今後の課題】			
	中小企業の抱える様々な問題に対して、産学官及び事業間の連携を通して対応していく必要がある。			

【重要性】  
地域経済の発展のためには、独立した中小企業の多様で活力ある成長発展が不可欠である。

【現状分析】  
全国的に景気が悪化をしている状況。その要因として外的リスクの短期金融市場への資金供給や利下げなどの景気対策を講ずるも、雇用の悪化・住宅価格の下落などがあり、内的リスクでは「改正建築基準法」などの規制強化や消費材料の値上げなどがあり先行き不透明感が増している。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
( )			0	0	0	0	0
業況判断指数DI値			0	0	0	0	0
(nt )			10	10	10	10	10
			13	10	4	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	1 商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	603 中小企業の経営を支援する	担当課:	3931000
【事務事業】	60301 中小企業融資運営委員会運営事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
融資申込み者の審査を実施し、制度融資が受けられるようにする	融資委員会開催回数(回)	中小企業者が企業経営に要する運転・設備資金等が必要になった場合、融資申込みを行いその内容を審査するための委員会を開催する。	6	4	4	2	2	計画額	306	578	847	847	102
	( )		2	1	0	1	0	(一般財源)	306	578	847	847	102
			0	0	0	0	0	予算額	306	578	204	102	102
			0	0	0	0	0	(一般財源)	306	578	204	102	102
								決算額	0	0	0	25	0
								職員数	0.15	0.15	0.15	0.2	0.2
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】			0	0	0	0	0	【業務】	中小企業融資運営委員会委員報酬(5)				
市内中小企業者及び創業者			0	0	0	0	0		中小企業融資運営委員会運営業務				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

平成15年度より制度融資凍結に伴い、融資委員会の開催が減り当初の目的が行えない状態にあり、委員会運営を見直す時期にある。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

融資委員会を開催しますが、委嘱状交付等、融資貸付に係る諮問・審査が行われない状況のため母体である松戸市制度融資同様に凍結する方向で検討中である。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	603	中小企業の経営を支援する	担当課:	3931000	
【事務事業】	60302	異業種交流支援事業	商工観光課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
参加企業の有する先進的な技術等を活用し、新製品の開発や技術改善を行うことにより各企業が競争力を高められるようにする。	新商品開発数(個)	新商品開発数理由:より多くの新商品を開発することで、商工業の発展につながるため。	1	1	1	1	1	計画額	400	400	400	400	600
			1	1	1	0	0	(一般財源)	400	400	400	400	600
	研究会開催数(回)	研究会開催数理由:研究を重ねることで、新商品開発につながるため。	9	9	9	9	9	予算額	400	400	400	400	400
			9	9	1	1	1	(一般財源)	400	400	400	400	400
								決算額	400	400	400	2,200	400
								職員数	0.2	0.22	0.2	0.2	0.2
							単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】 異業種交流に関心のある市内事業者	()		0	0	0	0	0	【業務】	松戸テクノプラザ補助金				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

テクノプラザの活動は活発化しており、新製品開発の取り組みも進んでいる。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

BDF事業を基軸とした新産業の創出を支援していく。







平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。								
【基本事務事業】	603	中小企業の経営を支援する	担当課:	3931000									
【事務事業】	60307	経営支援事業	商工観光課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				503	戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
中小企業の経営の革新及び創業を促進する。	相談件数(件)	理由・より多くの中小企業者や創業者に相談いただき、適切な事業計画の作成により経営基盤の強化を図る。状況・出張相談の件数が予定より少ない。	0	120	120	120	120	計画額	1,105,681	416,385	338,695	223,695	152,595
			0	98	93	97	65	(一般財源)	154,138	65,067	57,113	42,166	21,066
	相談員の助言が参考になった割合(%)	理由・相談員が相談者に適切な助言を行っているか、相談者からの意見を聞く。状況・相談員の助言が参考になったとの回答の割合は高い。(追跡調査により)	0	90	90	90	90	予算額	1,105,681	416,385	302,155	196,595	124,005
			0	98	100	42	38	(一般財源)	154,138	65,067	50,560	30,066	14,713
	申し込みの所期の目的が達成できた割合(%)	理由・所期の目的を達成できたことにより業務が完結したといえるため。状況・所期の目的が多様であり、目的を達成の達成に時間を必要とする場合や資金繰りなどで達成困難な場合もある。追跡調査を実施することによりフォローしている。	0	70	70	70	70	決算額	574,351	394,499	279,206	183,224	117,028
【対象】	市内中小企業者及び創業者		0	65	67	13	8	職員数	3.1	2.6	3.1	2.8	2.8
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績					【業務】 中小企業資金融資預託金 商工中金預託金 千葉県信用保証協会出捐金 中小企業融資資金利子補給金 事業転換資金利子補給金 新規大型店出展資金利子補給金 大型店周辺対策資金利子補給金 共同不燃建築資金利子補給金 中小企業融資資金損失補償金 中小企業者等緊急つなぎ資金貸付金 中小企業相談室業務					
			【定量分析】: 課題・現状分析					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
			平成15年度より市の融資制度凍結に伴い、相談窓口・出張相談業務に移行した。平成16年度相談窓口85件、出張相談13件計98件。平成17年度相談窓口90件、出張相談2件、電話相談1件計93件。平成18年度相談窓口94件、出張窓口3件計97件。平成19年度相談窓口64件、出張窓口4件。					相談件数・相談内容の分析を行い、多様な相談事項に対応できるシステムを検討していく。					

【計画事業】

【計画事業名】 事業資金融資事業

【節項コード】 503 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画		相談業務 窓口相談156日 出張相談520件相談PR講習会7回	相談業務 窓口相談156日 出張相談156件	相談業務 窓口相談156日 出張相談156件	相談業務 窓口相談156日 出張相談156件
実績		相談業務 窓口相談127日 出張相談 13件相談PR講習会6回	相談業務 窓口相談138日 出張相談 2件	相談業務 窓口相談144日 出張相談 3件	相談業務 窓口相談145日 出張相談 4件

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 商工業の活性化を推進する。	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	604 企業(産業)を誘致する	【基本計画区分】	503【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	市内企業経営の安定化を図る。	【背景】	労働集約型の工場から技術集約型の生産拠点や研究開発施設になるなど、産業の構造が変化している	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				60401	工業活性化事業	付加価値の高い産業への転換や、技術開発を促す国・県の政策等を活用し支援していく。
				60402	企業誘致事業	

【今後の課題】  
市内に立地している企業との連携及び新たな企業誘致政策の検討

【重要性】  
新たな産業を誘致することは、市の活性化と雇用の維持拡大につながる。

【現状分析】	工業団地については現在空きはないが、構造は変化しており、製造業以外の進出が増えている。	【指標】	上段:予算目標 下段:実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		PR活動による情報提供企業数	(件)	10	10	10	10	10
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	1 商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	604 企業(産業)を誘致する	担当課:	3931000
【事務事業】	60401 工業活性化事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
本市の工業が直面している課題について、行政と工業会が会議を行い、問題点を抽出したのち、専門家と解決策へ向けての勉強会を行う。	( )	勉強会、意見交換会等回数(回)	勉強会、意見交換会等回数理由:勉強会等を通して工業の振興がはかれるため。	0	4	4	4	4	計画額	0	204	376	200	200
				0	1	1	4	1	(一般財源)	0	204	376	200	200
				0	0	0	0	0	(一般財源)	0	204	200	200	200
				0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	160	40
				0	0	0	0	0	職員数	0	0.4	0.4	0.4	0.4
								単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】 事業者、工業会	( )	( )	( )	0	0	0	0	0	【業務】	活性化講習会開催業務				
				0	0	0	0	0						

【指標値】上段:予算目標 下段:実績

【定量分析】:課題・現状分析  
工業団体の例会への出席など日常の情報交換に加えて、随時勉強会を実施している。

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
より良い政策や事業との連携などのために、工業者との意見交換は重要となるため、引き続き継続していく。



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	604	企業(産業)を誘致する	担当課:	3931000	
【事務事業】	60402	企業誘致事業	商工観光課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					一般事業
					503 戦略区分
					—

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市内にシティホテルを誘致し市内活性化と雇用創出に寄与する。	PR活動数(回)	松戸市へ進出しようとする企業理由:市内にシティホテルを誘致し市内活性化と雇用創出に寄与するため企業へPRを行っていく。	3	3	3	3	3	計画額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
							職員数	0.21	0.21	0.05	0.05	0.05	
							単位) 事業費:千円 職員数:人						
【対象】 事業者	( )		0	0	0	0	0	【業務】	シティホテルを誘致する				
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

市内における立地優位性が弱いことから、進出企業がなかなか見つからない。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

松戸市へ進出意欲のある企業の情報を積極的に得る。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	1 商工業の活性化を推進する。	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	605 伝統工芸を支援する	【基本計画区分】	503【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	市内伝統的産業品産業経営の安定化を図る。	【背景】	市内産業の活性化の必要、失われつつある伝統工芸を守る意識の高まり。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				60501	伝統的工芸品保存支援事業	今後も千葉県指定の伝統的工芸品が持続的に発展するように支援する。
				60502	伝統的工芸品後継者養成事業補助金	

【今後の課題】  
後継者の育成。

【重要性】  
伝統工芸を守ることは、市の特色や魅力を高めることにつながる。

【現状分析】  
千葉県の風土と歴史のなかで生まれ、育まれてきた伝統的工芸品だが、後継者不足という問題があり、製作者が増える見込みはない。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
伝統工芸従事者数			11	11	11	11	11
(人)			11	11	11	11	11
			0	0	0	0	0
( )			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	1 商工業の活性化を推進する。
【基本事務事業】	605 伝統工芸を支援する	担当課:	3931000
【事務事業】	60501 伝統的工芸品保存支援事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
持続的に伝統的工芸品産業事業を行えるようにする	市内の伝統的工芸品の事業者数(人)	県により指定される伝統的工芸品産業の市内事業者数理由:伝統的工芸品の事業者数を把握することにより、より多くの伝統的工芸品の保存を支援するため。	11	11	11	11	11	計画額	0	0	0	0	0
	( )		11	11	11	11	11	(一般財源)	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
								決算額	0	0	0	0	0
								職員数	0.1	0.1	0.15	0.1	0.1
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】	市内の千葉県指定の伝統的工芸品産業従事者	【業務】	伝統的工芸品の保存を支援する
		【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】:課題・現状分析  
千葉県指定の伝統的工芸品製作者の問合せ対応と県指定制度の補助

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
今後も千葉県指定の伝統的工芸品が持続的に発展するように支援する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	1	商工業の活性化を推進する。				
【基本事務事業】	605	伝統工芸を支援する	担当課:	3931000					
【事務事業】	60502	伝統的工芸品後継者養成事業補助金	商工観光課						
			会計区分	一般会計	計画区分	一般事業	503	戦略区分	-

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
後継者を養成して伝統工芸品産業を持続できるようにする	補助を受け養成されている後継者数(人)	補助を受け養成されている後継者数理由:伝統的工芸技術を一代でも永く受け継がせるため。	1	1	1	1	1	計画額	0	600	600	600	600	
			1	1	1	1	1	(一般財源)	0	300	300	300	300	
			0	0	0	0	0	予算額	0	600	600	600	600	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	330	330	330	350	
			0	0	0	0	0	決算額	600	600	600	600	600	
市内の千葉県指定の伝統的工芸品産業従事者	(0)		0	0	0	0	0	職員数	0.1	0.1	0.15	0.15	0.15	
			0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績						

【定量分析】: 課題・現状分析

千葉県伝統的工芸品産業後継者養成事業補助金の支給千葉県伝統的工芸品産業後継者養成事業補助金の受給

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

千葉県指定の伝統的工芸品が持続的に発展するよう、今後も伝統的工芸品の製作者が後継者を養成する事業を支援する

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 雇用を拡大する	【項】	就労環境と就労機会の整備
【基本事務事業】	606 雇用促進を支援する	【基本計画区分】	504【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
就労意欲のある市民を就労できるようにする。	産業構造の変化、年功序列の減少など企業就労形態の変化、人件費などのコストの削減	60601	雇用促進事業	経済状況、人口問題、社会現象などの影響を踏まえた政策が望まれている。フリーターなどの若年者、再就職したい女性、高齢者、障害者などの労働弱者に対する支援事業は、成果がでにくくても社会的な必要性から継続していかねばならない。事業内容や企業の求めるニーズを研究し、有効性と効率性を高める努力をしていく。
		60602	緊急地域雇用創出特別基金事業	

【今後の課題】  
就労を希望する人の就労機会・環境を整える。

【重要性】  
産業構造の変化する中で、企業に求められる人材育成に関する情報提供などの支援が重要

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
有効求人数と就職率は徐々に増えている。企業の経営が安定したことで、定年退職者の増加から採用を再開しているためとみている。ただし、非正規社員(パート、派遣など)の就職が増え、正規社員での就職が難しくなっている。	有効求人数(ハローワーク松戸管内)	(人)		9600	9600	9600	9600	9600
	ハローワーク松戸管内就職率	(%)		9600	9992	10072	11601	11212
				20	20	20	20	20
				21	23	24	24	24

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	2	雇用を拡大する								
【基本事務事業】	606	雇用促進を支援する	担当課:	3931000									
【事務事業】	60601	雇用促進事業	商工観光課	会計区分	一般会計								
				計画区分	計画事業								
				504	戦略区分 ー								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
雇用促進のために、講座等を実施し働く上で必要な知識の普及や能力向上等の支援をする。	若者就労支援講座参加者の就職率(%)	就職者数/参加者数講座参加者の就職率を把握することで、事業の評価や見直しができ、今後の事業展開に重要な資料となるため。	20	20	20	20	20	計画額	7,176	7,192	7,029	7,490	6,806
			31.6	20	23	20	23	(一般財源)	7,176	7,192	7,029	7,490	6,806
								予算額	7,176	7,192	7,490	6,806	6,068
	パートタイマー月平均就職者数(ハローワーク松戸管内)(人)	ハローワークにおけるパートタイマー就職者数ハローワークにおけるパートタイマー就職者数を把握し、事業に反映させるため。	250	250	250	250	250	(一般財源)	7,176	7,192	7,490	6,806	6,068
			326	251	265	325	368	決算額	4,888	5,219	5,175	5,494	4,115
								職員数	1.05	0.85	0.85	1.45	1.95
								単位) 事業費:千円 職員数:人					
【対象】	15歳以上の市民で就職を希望する人。	レッツまつどアクセス数(人)	0	20000	50000	60000	70000	【業務】	公共職業安定所雇用促進協力会補助 創業支援業務 若者就労支援業務 求人・就職雇用促進業務 障害者雇用促進奨励補助金 求人求職対策支援業務				
			0	34863	61712	51146	53213	【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績				
		【定量分析】: 課題・現状分析	5年間の事業成果若者就労支援セミナー163名、親向け講演会73名、個別相談会72名、キャリアフォーラム153名、起業家育成セミナー40名(19年度のみ)					【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性 経済状況、人口問題、社会現象などの影響を踏まえた政策が望まれている。労働弱者の支援は成果が出にくくても社会的必要性から継続していかねばならない。事業内容や企業の求める人材ニーズを研究し、有効性と効率性を高める努力をしていく。また、企業の求人ニーズに合わせた能力向上事業や企業に対するアプローチも必要となってくる。					

【計画事業】

【計画事業名】 若者就労支援事業

【節項コード】 504 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 就労環境と就労機会の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会
実績	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー親向け講演会 「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー親向け講演会 「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会	若者就労支援セミナー親向け講演会 「働く女性のしおり」「パートタイマーQ&A」作成雇用促進協力会会議・講演会

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	2	雇用を拡大する
【基本事務事業】	606	雇用促進を支援する	担当課:	3931000	
【事務事業】	60602	緊急地域雇用創出特別基金事業	商工観光課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					504 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
雇用を促進するため、就職希望者が就労できるようにする。	雇用人数(人)		4	4	0	0	0	計画額	3,289	3,289	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	予算額	3,289	3,289	0	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0
	()		0	0	0	0	0	決算額	3,191	3,284	0	0	0
			0	0	0	0	0	職員数	0.5	0.5	0	0	0
							【業務】	就労支援委託研修事業					
【対象】	15歳以上の就労を希望する市民												
			【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										

【定量分析】: 課題・現状分析

若者が就職するためのスキルとして、パソコン研修を実施した。平成15年度 パソコン講座 75日間 延べ2345名平成16年度 パソコン講座 183日間 延べ1478名

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

本事業は、平成16年度をもって終了している。

【計画事業】

【計画事業名】 雇用(起業)支援事業

【節項コード】 504 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 就労環境と就労機会の整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	パソコン研修75日間延べ2345名	パソコン研修183日間延べ1478名 本年度をもって事業終了			
実績					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 雇用を拡大する	【項】	就労環境と就労機会の整備
【基本事務事業】	607 職業能力の向上を支援する	【基本計画区分】	504【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	就労意欲のある人が就労できるようにする。	【背景】	産業構造の変化、長引く不況、年功序列制の崩壊など企業の雇用形態の変化	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				60701	松戸地域職業訓練センター関係事業	職業上の技術向上や職業能力の習得の機会を提供する事業主、事業団体に対して、教育投資の意義を醸成する。また、センターにおいても職業に関する魅力的な講座を実施するよう提案していく。

【今後の課題】

職業訓練センターの活動内容の充実を図っていく。勤労者及び求職者のニーズに合った講座内容を実施するよう要請する。

【重要性】

企業に求められる人材としてスキルアップが重要

【現状分析】

終身雇用の崩壊、中小企業の経営不振から職員研修にかけるコストが減少していることから、会員企業からの研修派遣が減少している。会員企業を増やすことや魅力的な事業展開が望まれる。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
訓練等利用者数			30792	32500	32600	32600	33000
(人)			30792	32503	34543	34806	34822
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	2 雇用を拡大する											
【基本事務事業】	607 職業能力の向上を支援する	担当課:	3931000											
【事務事業】	60701 松戸地域職業訓練センター関係事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 504 戦略区分 -											
【目的】	市は、職業教育をする訓練センターの管理運営を支援する。  訓練センターは、地域における労働者等の勤労者として生涯を通ずる教育訓練体制を確立するため、中小企業労働者及び求職者等に対し各種職業教育訓練を行う事業主、事業主団体等に施設を提供する。	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		利用回数(回)	時間帯で区分した延べ利用回数働く方々の能力開発や教育訓練の活動場所であり、より多くの人が利用することで、職業上での技術向上や職業能力の習得になり雇用拡大につながるため。	1800	1800	1800	1800	1800	計画額	17,309	17,655	17,309	17,595	17,595
		( )		2073	1575	1631	1594	1394	(一般財源)	17,309	17,655	17,309	17,595	17,595
				0	0	0	0	0	予算額	17,309	17,655	17,595	17,595	17,563
				0	0	0	0	0	(一般財源)	17,309	17,655	17,595	17,595	17,563
				0	0	0	0	0	決算額	17,434	17,485	17,485	17,467	17,425
				0	0	0	0	0	職員数	0.75	0.65	0.65	0.55	0.55
				0	0	0	0	0	単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
				0	0	0	0	0	【業務】	運営費補助金				
				0	0	0	0	0	講座開催等業務					
【対象】	主に市内の中小企業労働者、求職者及び各種職業訓練を行う事業主、事業主団体	【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績												
		【定量分析】: 課題・現状分析												
		利用件数は少し減少傾向にある。受益者のニーズにあった事業内容の検討や会員数を増やすなどの工夫を管理運営団体へ指導していく。												
		【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性												
		職業上の技術向上や職業能力の習得の機会を提供する事業主、事業団体に対して、教育投資の意義を醸成する。また、センターにおいても職業に関する魅力的な講座を実施するよう提案していく。												

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 雇用を拡大する	【項】	就労環境と就労機会の整備
【基本事務事業】	608 良好な労働条件の確保を図る	【基本計画区分】	504【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
就労意欲のある市民が就労できるようにする。	労働問題について悩んでいる勤労者の増加と雇用環境の悪化。	60801	労働支援事業	現状維持 近年、法の改正や雇用調整による労働規制の影響もあり、相談件数は増えている。成果が出にくい事業であっても、労働者の救済の場として、公共が担い継続しつづける意味がある。今後も市民に周知していくとともに相談内容を分析し傾向から対策事業へつなげていく。

【今後の課題】  
充実感を持って働ける勤労者を増やす。

【重要性】  
就労意欲を高め、安心して仕事に打ち込めるような職場環境を望む勤労者の相談を身近な場所ですることができるようにする。

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
相談者の相談後のアンケートでは、解決、または、解決の糸口が見つかったとほぼ全員が答えている。相談件数は多ければよいというわけではなく、問題を抱えた市民が救われたかどうかが成果である。	労働相談件数	(件)	( )	50	50	55	55	60
				26	52	34	59	70
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	2 雇用を拡大する
【基本事務事業】	608 良好な労働条件の確保を図る	担当課:	3931000
【事務事業】	60801 労働支援事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 504 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
雇用の安定と退職後の生活の安定を図るため、労働上問題を解決し、良好な労働条件を確保する。	相談件数(件)	相談件数相談件数を把握することで、相談の需要や広報の開催周知等、事業の評価・見直しができ、今後の事業展開に重要な資料となるため。	40	50	60	70	80	計画額	5,281	6,042	5,281	6,406	6,734
			26	52	34	59	70	(一般財源)	5,281	6,042	5,281	6,406	6,734
								予算額	5,281	6,042	6,406	6,734	8,367
								(一般財源)	5,281	6,042	6,406	6,734	8,367
	退職金共済加入率(%)	加入事業所/中小企業事業所市内の中小企業の事業所が退職金共済掛金にどれだけ加入しているかを指標とすることで、事業主が企業の福利厚生や従業員の退職後の生活基盤の安定を図るうえで参考になることから、退職金共済掛金加入	6.5	6.6	6.7	6.8	6.9	決算額	4,841	5,441	7,018	7,788	6,952
			6.2	6.3	6.3	6.1	6	職員数	0.6	0.5	0.5	0.5	0.5
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
	( )		0	0	0	0	0	【業務】	労働相談業務				
			0	0	0	0	0	退職金共済掛金補助金					

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

労働相談は増加している。近年、雇用均等法、パートタイム労働法、労働契約法などの法改正があり、労使ともに混乱している。身近で専門家の助言を受けることが出来る相談室は企業にとっても労働者にとっても意味がある。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

今後も広く市民に広報していく。平成18年度よりアンケートを実施し、相談者の満足度を調査しており、ほぼ全員が解決の糸口を見つけている。



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	2 雇用を拡大する	【項】	就労環境と就労機会の整備
【基本事務事業】	609 勤労者福祉の充実を図る	【基本計画区分】	504【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	就労意欲のある市民が就労できるようにする。	【背景】	教養、生涯学習など勤労者に対する福祉の充実への期待がある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
				60901	勤労会館管理運営事業		平成20年度は、空調機の工事、備品の入れ替えなどでリニューアルする。今後は、本来の設置目的にあった利用者を確保する努力をしていく。

【今後の課題】  
勤労者の文化及び教養並びに勤労意欲をより高める。勤労会館は老朽が進んでいる。

【重要性】  
勤労者の文化及び教養並びに勤労意欲を高める場の提供

【現状分析】  
利用率は少々下がり気味ではある。施設の老朽化と利用者の嗜好の変化から和室の利用率が下がっているためとみている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
勤労会館利用率			61	62	63	64	65
(%)			61.3	62.2	61	60	58
			0	0	0	0	0
( )			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	2 雇用を拡大する
【基本事務事業】	609 勤労者福祉の充実を図る	担当課:	3931000
【事務事業】	60901 勤労会館管理運営事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 504 戦略区分 -

【目的】	勤労者の文化及び教養並びに勤労意欲を高めるため、施設を提供する。	【指標】	勤労会館の利用率(%)	【指標概要】	勤労会館利用時間/総開館時間利用率を把握することで、利用状況が把握でき、今後の会館運営への事業の見直し等、重要な資料となるため。	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						61	62	63	64	65	計画額	25,766	25,907	24,826	25,022	20,528
						62	62	61	60	58	(一般財源)	21,951	21,493	21,011	20,350	15,784
						0	0	0	0	0	予算額	25,766	25,907	25,022	20,528	21,850
						0	0	0	0	0	(一般財源)	21,951	21,493	20,350	15,784	17,041
						0	0	0	0	0	決算額	23,688	23,409	24,245	20,497	20,912
											職員数	0.85	0.75	0.75	0.5	0.5
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	市内在住在勤の16歳以上の勤労者					0	0	0	0	0	【業務】	講座開催等業務				
						0	0	0	0	0	施設提供業務					
											施設維持業務					
											施設整備業務					

【定量分析】: 課題・現状分析  
施設利用者は少々減少傾向であるが、ほぼ安定している。講座参加者も定員を満ち、好評である。講座の内容は、新規テーマを実施し、市民のニーズに対応している。施設は老朽化が進んでいるが、平成20年度は空調工事を予定し、改善に努めている。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
平成18年度より指定管理者による管理運営を行っている。施設提供サービスは、安定しているが、目的外使用(勤労者以外)の使用が増ってきている。働く人が使いやすい施設作り、事業展開を目指していく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 観光による集客力を高める	【項】	多機能な近郊型観光の振興
【基本事務事業】	610 既存の観光資源を支援する	【基本計画区分】	505【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	産業を振興させる。	【背景】	日本経済の長期停滞、ライフスタイルの多様化に伴うレジャーの多様化、NPOなど社会貢献を目的とした組織の増加	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				61001	観光施設管理事業	今後も限られた観光資源を整備保全することにより安全、良好な観光地の提供をしていくことと、各季節の風物詩として定着しているイベント開催を支援することにより、観光客の誘引や市民に心の潤いを提供する必要がある。
				61002	緊急地域雇用創出特別基金事業	
				61003	観光イベント支援事業	

【今後の課題】  
訪れる観光客が減少している。既存観光イベントの担い手である市民が固定化し、世代交代できない。観光資源が持続的に発展していくこと。年齢職業などに囚われず、多様な市民が参画できる市民主体のイベント開催。

【重要性】  
地域に活力と魅力をもたらし、産業の振興にもつながる。

【現状分析】  
手軽に訪れることのできる観光スポットや、地域で開催されるイベントの需用が高まっている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
特色ある祭りや地域ぐるみイベントの満足度	(%)	(%)	65	63.5	63.5	63.5	65
			65	62.9	62.9	62.9	62.9
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	3 観光による集客力を高める
【基本事務事業】	610 既存の観光資源を支援する	担当課:	3931000
【事務事業】	61001 観光施設管理事業	商工観光課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	施設整備を行うことで快適にし、観光客数を増加する。	【指標】	観光客入れ込み数(矢切の渡し)(千人)	【指標概要】	観光客入れ込み数(矢切の渡し):施設よりの提出理由:より多くの人に古くからある渡し船を体験してもらい、歴史を次世代に伝えていただくとともに、松戸市をPRする。	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						111	111	111	111	111	計画額	8,717	8,717	8,700	10,870	8,748
						111	118	126	96	111	(一般財源)	8,717	8,717	8,700	10,870	8,748
											予算額	8,717	8,717	8,848	8,748	8,732
											(一般財源)	8,717	8,717	8,848	8,748	8,732
						16	16	16	16	16	決算額	8,534	8,407	9,024	7,488	8,189
						16	16	12	14	13	職員数	0.5	0.5	0.9	0.9	0.9
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
						0	0	0	0	0	【業務】	からくり時計を管理する				
						0	0	0	0	0		矢切苑等を管理する				

【対象】  
松戸市内の観光拠点(主に矢切地区)

【定量分析】:課題・現状分析  
矢切地区の環境整備 矢切の渡し:トイレ設置・管理、駐車場設置・管理、入口の小道清掃・補修 野菊の墓文学碑:清掃、トイレ設置・管理松戸駅西口デッキ上からくり時計の維持管理(平成20年2月に撤去)常盤平さくらまつりでの仮設トイレの設置

【担当部課評価】:最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
今後も限られた観光資源を整備、保全することにより、安全及び良好な観光地の提供をし、誘客を図る



【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 観光による集客力を高める	【項】	多機能な近郊型観光の振興
【基本事務事業】	611 新しい観光資源の創出を支援する	【基本計画区分】	505【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	産業を振興させる。	【背景】	市内の活性化策として地域からの要望がある。集客能力を高めることにより、新たな投資が生まれてくる可能性もある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 成果改善
				61101	観光資源創出支援事業	市民、事業者の自主的な活動を促進させることにより、新たな観光資源の創出を見出す。

【今後の課題】  
運営主体の活性化を支援する。

【重要性】  
観光産業やイベント等が補助金等に依存するのではなく、主体的な市民活動により運営されることが活性化にもつながる。

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市内の活性化策として地域からの要望がある。集客能力を高めることにより、新たな投資が生まれてくる可能性もある。	交流事業数			11	12	13	14	15
	(件 )			11	23	9	0	0
				0	0	0	0	0
	( )			0	0	0	0	0



【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	3 観光による集客力を高める	【項】	多機能な近郊型観光の振興
【基本事務事業】	612 観光情報の提供をする	【基本計画区分】	505【担当課】 3931000 商工観光課

【目的】	産業を振興させる。	【背景】	市内にある観光スポットに関する問合せが多くある。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				61201	観光促進事業	今後も観光協会、観光梨園組合連合会、観光ボランティア(観光大使、矢切四季の道、松戸シティガイド)と協力して松戸市をPRし、観光客の誘引を図る必要がある。

【今後の課題】  
情報の整理を行いいつでも必要な情報を提供できるようにする。

【重要性】  
観光を柱にして地域の活性化につながる。

【現状分析】  
観光地を訪れるにあたり、ガイドの希望が増えている。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
シティガイド等活動回数			136	136	136	136	140
(回)			113	114	116	117	114
			0	0	0	0	0
( )			0	0	0	0	0



平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	4 農林水産業の育成を図る	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	613 農業の生産性を向上させる	【基本計画区分】	503【担当課】 3933000 農政課

【目的】	市内の農業、林業、水産業、畜産業の継続性を維持する。	【背景】	規制緩和による輸入食料品の増加による農業経営基盤の不安定化、都市化の進展に伴う農家戸数、農地面積の減少化傾向、都市近郊型農業としての新しい農業経営体の模索、林業、水産業、畜産業の減退化。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				61301	農業経営基盤強化事業	農家数・農地面積が減少している現在、今後の都市農業のあり方の再考及び経営の安定化を図る。
				61302	産地育成強化支援事業	
				61303	土地基盤整備事業	
				61304	農業総務事務費	

【今後の課題】  
都市化による農地の減少に加えて外国からの安価な輸入品により国内市場のシェアを奪われている。市場シェアの拡大のため、共販体制の強化と「松戸のブランド化」の促進。

【重要性】  
農林水産業を守るためには、魅力ある都市農業を持続させる必要がある。

【現状分析】  
平成20年4月に経営改善計画申請を受付、110名の認定農業者を認定すると共に、各種団体への指導支援、農業生産性向上のための支援を行った。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
生産農業所得			4200	4200	4200	4250	4250
(百万円)			3610	3384	3741	3567	2836
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	4 農林水産業の育成を図る
【基本事務事業】	613 農業の生産性を向上させる	担当課:	3933000
【事務事業】	61301 農業経営基盤強化事業	農政課	
		会計区分	一般会計
		計画区分	一般事業
		503	戦略区分
【目的】	効率的かつ安定的な農業経営を育成すると共に、担い手を育成する。	【指標】	
		【指標概要】	
		農地面積 (ha)	
		農地面積	
		農家数 (戸)	
		農家数	
		( )	
【対象】	経営安定を望む農業者と、若手担い手	【業務】	
		農業振興資金融資預託金	経営改善支援センター業務
		農業経営基盤強化資金利子補給金	農業関係団体補助金
		千葉県農業信用基金協会出資金	農業後継者育成支援業務
		農業近代化利子補給金	農家組合長報償金
		農業振興資金利子補給金	
		農用地利用促進業務	

【定量分析】: 課題・現状分析  
農業者の高齢化と農業所得の不安定さにより、農家数及び農地面積が共に減少している。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
農業経営の安定化を図り、農地等の保全を推進する。







平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	4 農林水産業の育成を図る	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	614 農地を保全する(農業振興)	【基本計画区分】	503【担当課】 3933000 農政課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
市内の農業、林業、水産業、畜産業の継続性を維持する。	都市化の進展、後継者不足の増加により農地面積の減少と遊休農地の増加が進んでいる。	61401	環境保全型農業推進事業	現状維持
		61402	観光農業普及奨励事業	減農薬に対する意識の向上及び農業生産廃棄物の適正処理を推進する。

【今後の課題】  
遊休農地を減らし、本来の機能を果たす農地を維持・確保して行く。

【重要性】  
市内の産業の一つである農林水産業の維持、都市の中での貴重な緑地の保全としても重要

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
観光農業(オーナー農園等)の販売区画数の増大による農業への理解と堆肥の導入等の支援により都市農業と農地保全に貢献した。	経営耕地面積			783	783	783	783	783
	(ha)			783	783	715	715	715
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	4 農林水産業の育成を図る
【基本事務事業】	614 農地を保全する(農業振興)	担当課:	3933000
【事務事業】	61401 環境保全型農業推進事業	農政課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
環境へ配慮し農業生産を図ると共に、農業用廃棄物不投棄の推進を図る。	農業用廃棄物の処理量(t)	農業用廃棄物の処理量	40	40	40	30	30	計画額	19,137	18,688	17,450	17,650	15,252
			34	32.1	28.46	27.92	25.37	(一般財源)	19,137	18,193	17,100	17,300	14,832
	補助事業件数(件)	補助事業件数	372	372	372	372	372	予算額	19,137	18,688	12,338	15,252	11,196
			372	349	384	319	255	(一般財源)	19,137	18,193	11,866	14,832	10,776
								決算額	12,517	10,820	8,324	10,783	8,084
								職員数	0.2	0.2	0.2	1	0.2
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】	農業を営む者	【業務】	土づくり推進事業補助金 環境にやさしい農業推進事業補助金
		【指標値】	上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析  
性フェロモン剤等の利用により農薬使用を減少して、環境に配慮した農業を推進すると共に農業生産廃棄物の適正な処理を実施することにより不法処理が減少された。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
減農薬に対する意識のさらなる向上と適正処理を推進する。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	4	農林水産業の育成を図る
【基本事務事業】	614	農地を保全する(農業振興)	担当課:	3933000	
【事務事業】	61402	観光農業普及奨励事業	農政課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					503 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
観光農業、産地直売を通じ、都市農業の理解を図る。	販売区画数(区画)		1200	1200	1200	1300	1300	計画額	660	910	845	845	550
			1216	1170	1101	903	860	(一般財源)	660	910	845	845	550
									予算額	660	910	300	550
都市農業と新鮮農産物に理解のある市民	()		0	0	0	0	0	(一般財源)	660	910	300	550	576
			0	0	0	0	0	決算額	300	468	300	286	435
								職員数	0.4	0.4	0.4	0.5	0.4
							【業務】	オーナー農園支援業務 産地直売園支援業務					
								単位) 事業費:千円	職員数:人				

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

ここ数年間、購入区画数が減少傾向にあるが、無農薬・減農薬については関心が高まっているように見受けられる。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

種類、募集方法等を見直し、販売区画数の増加を図る。

【計画事業】

【計画事業名】 オーナー農園支援事業、産地直売園等の支援事業

【節項コード】 503 【節名】 魅力ある都市空間の形成と産業の振興

【項名】 活力ある産業の振興

	H15	H16	H17	H18	H19
計画	オーナー農園は、協力団体に対する補助金等の支援	オーナー農園は、協力団体に対する補助金等の支援産地直売マップの作成	オーナー農園は、協力団体に対する補助金等の支援	オーナー農園は、協力団体に対する補助金等の支援産地直売マップの作成	オーナー農園は、協力団体に対する補助金等の支援
実績	販売区画数 1216区画	販売区画数 1170区画	販売区画数 1101区画	販売区画数 903区画	販売区画数 860区画

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06 産業を振興させる	【節】	魅力ある都市空間の形成と産業の振興
【施策】	4 農林水産業の育成を図る	【項】	活力ある産業の振興
【基本事務事業】	615 林業・水産業・畜産業を支援する	【基本計画区分】	503【担当課】 3933000 農政課

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
市内の農業、林業、水産業、畜産業の継続性を維持する。	規制緩和による輸入食品品の増加による農業経営基盤の不安定化、都市化の進展に伴う農家戸数、農地面積の減少化傾向、都市近郊型農業としての新しい農業経営体の模索、林業、水産業、畜産業の減退化。	61501	森林組合補助金	家畜防疫対策指導を通じて、環境整備と経営安定化を推進する。
		61503	畜産業活動支援事業	

【今後の課題】  
各事業の従事者と連携し、事業の継続の方策について研究する。

【重要性】  
従事者の減少が著しく、生産性を高め、効率的な経営などについて支援が重要

【現状分析】	【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
予防接種助成等により環境整備を図ったが、1件の畜産業廃業に伴い、20年度より団体としての支援を終了した。	組合員数			4	4	4	4	4
	(人)			4	3	3	3	3
				0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0

【政策】	06 産業を振興させる	【施策】	4 農林水産業の育成を図る
【基本事務事業】	615 林業・水産業・畜産業を支援する	担当課:	3933000
【事務事業】	61501 森林組合補助金	農政課	
		会計区分	一般会計
		計画区分	一般事業
			503 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
適正に森林を管理する。	( )		0	0	0	0	0	計画額	0	0	0	0	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
									決算額	0	0	0	0	0
									職員数	0	0	0	0	0
							単位) 事業費: 千円							
【対象】 森林を管理する人	( )		0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0							

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性  
平成16年度で終了

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	06	産業を振興させる	【施策】	4	農林水産業の育成を図る
【基本事務事業】	615	林業・水産業・畜産業を支援する	担当課:	3933000	
【事務事業】	61503	畜産業活動支援事業	農政課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 503 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
育成環境を改善し良質な品質、安定経営を図り、畜産団体を維持する。	育成農家数(件)	活動団体数	4	3	3	3	3	計画額	346	304	246	306	305
			4	3	3	3	3	(一般財源)	346	304	246	306	305
	(0)		0	0	0	0	0	予算額	346	304	306	305	219
			0	0	0	0	0	(一般財源)	346	304	306	305	219
	(0)		0	0	0	0	0	決算額	309	303	298	298	213
			0	0	0	0	0	職員数	0.2	0.2	0.2	0.4	0.2
							単位) 事業費：千円 職員数：人						
【対象】							【業務】						
畜産業を営む者							家畜防疫対策業務						
							畜産連絡協議会補助金						

【指標値】上段：予算目標 下段：実績

【定量分析】：課題・現状分析

家畜防疫対策指導を行い環境整備が図られている。

【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性

家畜防疫対策を通じて、環境整備と経営の安定化を推進する。